

トヨタ自動車技術開発部

# もっといいクルマづくりの 目指すもの



保守本流のイメージを覆したクラウン

「いいクルマの条件は、なんといってもかっこいいクルマ」。12年4月に開いた記者発表会で内山田竹志副社長(現会長)はそう強調した。だがトヨタはみずから組織に手を入れ、かっこいいクルマを世に送り出しやすくする体制を整えてきた。そのキーマンが、デザイン本部長を務める福島得雄専務役員。関東自動車工業(現トヨタ自動車)に勤務していたが、11年1月にトヨタのデザイン本部長に就任。デザイン部門を統合する改革の陣頭指揮を執ることになった。(内山田会長)。

個

た

福市専務役員は目指す

「デザインのあり方についてこう話す。『強さ・意

外性を併せ持つエモーショナルなデザインで、今

のトヨタの潮流を変えていく』時に質問論議があ

ったとしたとしても見られる者

の印象に残るデザインを

目ぼすことによって万人受け

する無難なデザインだけ

のアスリート」ともいって、

前面のグリルが大きくな

大型セダン「クラウン

「ロイヤル

までのイメージを大きく

変化させた

トヨタの挑戦する姿勢

が伝わったこともあります

が伝わったこともあり

目を集めそうだ

トヨタの潮流を変えていく

車両の下までつながった

車両の下までつながった